

製品名: CD98 (2G13) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08492**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,IP 1:10-1:100,IF-P 1:100-1:200
分子量	68kDa

抗原情報

遺伝子名	SLC3A2
別名	4T2HC; CD98; CD98HC; MDU1; NACAE; Slc3a2;
遺伝子 ID	6520.0
SwissProt ID	P08195
免疫原	ヒト CD98 の合成ペプチド

背景

軽鎖アミノ酸トランスポーターの機能に必須。フェニルアラニン、チロシン、ロイシン、アルギニン、トリプトファンといった大型中性アミノ酸のナトリウム非依存性高親和性輸送に関与する。LAT1 および LAT2 の細胞膜への誘導および標的化に関与する。アミノ酸輸送に関与する複数のヘテロ二量体複合体の構成要素である (PubMed:11557028, PubMed:9829974, PubMed:9751058, PubMed:10391915, PubMed:10574970, PubMed:11311135, PubMed:30341327)。正確な基質特異性は、ヘテロ二量体中のもう一方のサブユニットに依存する (PubMed:9829974, PubMed:9751058, PubMed:10391915, PubMed:10574970, PubMed:30867591, PubMed:10903140)。複合体はアミノ酸交換体として機能する (PubMed:11557028, PubMed:10903140, PubMed:12117417, PubMed:12225859, PubMed:30867591)。ホモ二量体は、ナトリウム非依存性の高親和性トランスポーターとして機能し、フェニルアラニン、チロシン、L-DOPA、ロイシン、ヒスチジン、メチオニン、トリプトファンといった大きな中性アミノ酸の取り込みを媒介します (PubMed:9751058, PubMed:11557028, PubMed:11311135, PubMed:11564694, PubMed:12117417, PubMed:12225859, PubMed:25998567, PubMed:30867591)。SLC3A2 と SLC7A6、または SLC3A2 と SLC7A7 によって形成されるヘテロ二量体は、二塩基性アミノ酸の取り込みを媒介します (PubMed:9829974, PubMed:10903140)。SLC7A5/LAT1 とのヘテロ二量体は、甲状腺ホルモンであるトリヨードチロニン (T3) およびチロキシン (T4) の細胞膜透過を媒介します (PubMed:11564694, PubMed:12225859)。SLC7A5/LAT1 とのヘテロ二量体は、L-システインまたは D,L-ホモシステイン複合体として投与された毒性メチル水銀 (MeHg) の取り込みに関与します (PubMed:12117417)。SLC7A5/LAT1 とのヘテロ二量体は、ロイシンの取り込みに関与します (PubMed:25998567, PubMed:30341327)。LAPTM4B と会合した SLC7A5/LAT1 とのヘテロ二量体はリソソームにリクルートされ、これらの細胞小器官へのロイシンの取り込みを促進し、mTORC1 の活性化を媒介する (PubMed:25998567)。SLC7A5/LAT1 とのヘテロ二量体は、L-DOPA の血液脳関門輸送に関与している可能性がある (相同性に基づく)。SLC3A2 と SLC7A5/LAT1、または SLC3A2 と SLC7A8/LAT2 によって形成されるヘテロ二量体は、L-ニトロソシステイン (L-CNSO) の膜貫通立体選択的輸送を介して、低分子量ニトロソチオールの細胞内活性に関与する (PubMed:15769744)。ICAM1 と共に、分極した腸管細胞における SLC7A8/LAT2 の輸送活性を、細胞内シグナルの生成と伝達によって制御する (PubMed:12716892)。SLC7A5/LAT1 および SLC7A8/LAT2 の細胞膜への標的化とチャネル活性に必須である (PubMed:9751058, PubMed:11311135, PubMed:30867591)。ヒト臍帯静脈内皮細胞 (HUVEC) における一酸化窒素合成において、L-アルギニン輸送を介して役割を果たす (PubMed:14603368)。内網膜血液関門を介した L-ロイシンの血液から網膜への輸送を媒介する可能性がある (類似性による)。

研究分野

-

画像データ

HepG2 細胞溶解物中の CD98 発現のウェスタン ブロット分析。

